

## 6月度の観察記録

カテゴリ : 2019年

\_MD\_POSTEDON投稿者: [Zz.admin](#) 掲載日: 2019-6-9

2019年6月度の観察記録です。

```
Untitled Page .auto-style1 { text-align: right; } var gaJsHost = (("https:"  
== document.location.protocol) ? "https://ssl." : "http://www.");  
document.write(unescape("%3Cscript src='" + gaJsHost + "google-analytics.com/ga.js'  
type='text/javascript'%3E%3C/script%3E")); var pageTracker =  
_gat._getTracker("UA-3205823-1"); pageTracker._initData(); pageTracker._trackPageview();
```

2019年 6月?9日(日) 9:30~12:30 作成: 田畑恭子 監修: 瀧川正子  
写真協力: 伊藤義人氏

参加者: 大人?17名, 子ども?9名 天気: 雨 朝から弱い雨が降り続いていました。そのためか参加者数は先月までにくらべてぐっと少なくなりました。湿地の生きものを観察しに行くのが今月のテーマの一つでしたが、途中観察するものが多くて湿地に辿り着くまでに時間がかかりました。久しぶりの雨の中、森の緑が一段と映える景色を楽しむことができました。

里山の家での持ち込み観察項目: ハナイカダ, ヤブジラミ, オヤブジラミ, ニホンアカガエル, ノコギリクワガタ? 出発前に里山の家でヤブジラミとオヤブジラミの紹介があり、近くのヤブジラミを見に行くことにしました。平和公園ではヤブジラミの方が少ない印象とのことですが、そこではたくさん自生して花を咲かせていました。オヤブジラミと比べて実が小さく花の時期が1ヶ月ほど遅いとのことでした。頭上のアカメガシワの雄木はつぼみをつけていました。すぐそばには雌木もあって探すとこちらにもつぼみが見つかりました。サクラの葉には昼行性のガである、クロバ(マダラガ科)の仲間が雨宿りしていました。





ヤブジラミの花 アカメガシワの雄花(左)と雌花 クロバ(マダラガ科)の仲間 **マイマイガの幼虫**の毛にも水滴がたくさんついていました。また濡れた木々の間を移動する**イセノナミマイマイ**を数多く見かけました。子どもが捕らえた甲虫は**セアカヒラタゴミムシ**で、上翅が美しく光っていました。空を見上げるとツバメがたくさん飛び交っていました。ざっと数えると15羽ほどでした。野鳥に詳しい参加者によると、この春一回目の子育てで巣立った「一番子(いちばんこ)」だろうとのことでした。





マイマイガの幼虫 イセノナミマイマイ セアカヒラタゴミムシ 日本では数少ない毒グモの一種、カバキコマチグモの巣の中を見てもいいことになりました。このクモに噛まれたことがあるという参加者が、持参のピンセットでススキの葉を慎重に広げていくと中には**卵囊**とともに**親グモ**がいました。孵化した子グモはやがてこの親グモをエサにして育つのだそうです。



カバキコマチグモの巣 巣を開ける様子 カバキコマチグモとその卵囊 ムラサキシキブが花盛りで、いい香りがしていました。サラサウツギの花も観察しましたが、こちらはほんのりと香る程度でした。スズコナリヒラタケの葉の付け根の毛先についた雨の粒を見つけて「きれい」との声があがりました。



ムラサキシキブの花 サラサウツギの花 水滴がついたスズコナリヒラタケ 今回の観察会では虫こぶもいくつか見つかりました。アキノレの葉の表面には目を引く濃いピンク色の虫こぶ、ヨモギには紫色の円錐形の虫こぶ、ノイバラには球形の淡いピンク色の虫こぶがついていました。



アキニレの虫こぶ ヨモギの虫こぶ ノイバラの虫こぶ 過去の観察会で何度も見ているザトウムシですが、黒い体に赤いダニがよく目立ちました。ダニが脚にもくっついているのを見て、そこでは体液が吸えないのでは、との声も聞かれました。湿地に移動するとショウブの花が咲いていて、ショウブを食草とするガ、ツマキホソハマキモドキもその葉にとまっていた。先月花を観察したカキツバタは実になっていました。その他モウセンゴケ、ミスゴケも観察することができました。



ザトウムシ ショウブの花 ツマキホソハマキモドキ





カキツバタの実 モウセンゴケの捕虫葉 ミズゴケ 池の水を網ですくうとハイイロゲンゴロウの幼虫が捕れました。肉食の水生昆虫です。田んぼの近くではこの春生まれたニホンアカガエルの幼体があちこちで跳ねていました。最後にクワの実を見に行きました。去年は大量についた実がよく熟していた木ですが、今年はほとんどの実が白く変色していました。植物に詳しい参加者によると菌による病気の様です。それでも数少ない黒く熟した実の中からひとつだけ食べて里山の家に戻りました。





ハイイロゲンゴロウの幼虫 ニホンアカガエル 熟したクワの実（右）と白く変色したもの

平和公園での観察項目：ヤブジラミ, ベニシジミ, ツマグロオオヨコバイ, アカメガシワ, カメムシの卵, イセノナミマイマイ, クロバ(マダラガ科)の仲間, マイマイガの幼虫, ハラグロオオテントウ, サクラランボ, ツバメ, セアカヒラタゴミムシ, ツチイナゴ, ツバメシジミ, コフキゾウムシ, ムラサキシキブ, コアオハナムグリ, サラサウツギ, アキニレの虫こぶ, ウメモドキ, コイチャコガネ, ヨモギの虫こぶ, スジベニコケガ, ツトガの仲間, ヌルデ, タラノキ, ヒメカメノコテントウの幼虫, ザトウムシ, ニシキギの実, カバキコマチグモの巣, オジロアシナガゾウムシ, カメムシの仲間, ベニボタルの仲間, ノイバラの虫こぶ, ハムシの仲間, ノイバラ, スズコナリヒラのタケノコ, ヘビイチゴ, ドクダミ, ササ, ガマズミのつぼみ, ウスノキの実, モウセンゴケ, ミズゴケ, ヤナギルリハムシ, ツマキホソハマキモドキ, ショウブの実, オオカマキリの幼虫, カノコガ, イオウイロハシリグモ, カキツバタの実, ハイイロゲンゴロウの幼虫, ニホンアカガエル, コナラの新芽, ハナグモ, ゴミグモ, サワフタギ, ケカマツカ, ズミ, クワの実, コクワガタのメス

?